

<概要>

日時：令和3年6月21日（月） 10:00～11:40

会場：南信消費生活センター 大会議室（飯田市追手町2丁目641-47）

出席数41名（うち委任状により出席とみなされた者9名）、欠席1名 【委員総数42名】

<協議事項>

第1号議案 役員改選(案)について

第2号議案 令和2年度事業報告及び決算報告について

第3号議案 南信州地域公共交通計画（案）について

第4号議案 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

第5号議案 地域公共交通確保維持改善事業「生活交通確保維持改善計画」について

- ① 飯田市（飯田市地域公共交通改善市民会議）
- ② 松川町（松川町地域公共交通対策協議会）
- ③ 高森町（高森町地域公共交通協議会）
- ④ 阿南町（下伊那南部地域公共交通対策協議会）
- ⑤ 阿智村（阿智村地域公共交通協議会）
- ⑥ 根羽村（西部コミュニティバスを守り育てる会）
- ⑦ 喬木村（喬木村地域公共交通会議）
- ⑧ 豊丘村（豊丘村地域公共交通会議）
- ⑨ 大鹿村（大鹿村地域公共交通会議）

第6号議案 南信州地域交通問題協議会規約（案）について

<報告事項>

- ・令和2年度公共交通利用実績（輸送人員）について

- ・議事録署名人に長野県タクシー協会下伊那支部長 村澤 文彦 氏 及び 下條中学校前PTA会長 中島 康晴 氏が選任された。

<協議内容>

第1号議案 役員改選(案)について

- ・事務局より説明。
- ・役員の変更について選考方法の提案（意見）は無く、事務局案を提出（配付）した。

⇒議案（事務局案）の通り承認された。

第2号議案 令和2年度事業報告及び決算報告について

- ・事務局より説明。
- ・決算報告後にて飯田市社会福祉協議会中島会長により監査報告。

⇒議案の通り承認された。

第3号議案 南信州地域公共交通計画(案)について

- ・事務局より説明。

○質疑、意見等

(佐藤会長)

- ・本編の17ページの(オ)“市町村負担の縮減”の中の“補助金活用”について、取組主体に南信州協議会となっているが、正式な名称に直したほうが良いのではないか。

(事務局)

- ・(正式には南信州地域交通問題協議会が正しいため)訂正します。

(売木村長)

- ・観光特化路線は増やしていく、あるいは検討していく予定があるか。

(事務局)

- ・鳥倉線は(伊那バスの)自主運行路線として把握している。今後、(観光交通は)観光タクシーのメニューを増やしていく予定である。バスで走らせるのかタクシーで走らせるのかは、どのくらいのニーズがあるかを把握し、検討していきたい。

(売木村長)

- ・昼神から(以南の)町村にタクシーを走らせてほしい。

(会長 佐藤連合長)

- ・今回の計画に反映するというだけでなく、今後の取組みとしての認識でよいか。

(売木村長)

- ・(その認識で)良い

(名古屋大学 加藤先生)

- ・14市町村それぞれで(来訪者の)移動をどうしたらよいかを考えて、いろいろやることについてどんどんやってほしい。ただし、人は市町村内だけを動くのではないし、まして観光客は市町村境はどうかなんて関係なくて来て(利用して)いる。バラバラでやっていて、バスを走らせても意味がない。
- ・観光はそれぞれでやっているとなかなかうまくいかない、既存の路線を観光路線として活かしていくなど総合的に検討して、南信州地域交通問題協議会やそれぞれの市町村地域公共交通会議の中で検討し、運行してほしい。ただし、各市町村が観光路線を作ったら、そのことを全体で共有する必要があり、また新しい路線を新計画の中で体系としてどこに位置づけていくか、みんなで考えていくと良い。
- ・全市町村のバスをGTFS-JP化することで、googleの検索にひっきり、MaaSにもつながっていく。実は、この計画にはきちんと施策として書いてある。
- ・創意工夫をして、自分の地域にとって大事な取組みとして取り入れていくのであれば、この協議会を通してきちんと相談して導入していくことが成功の近道と考える。

☞(指摘事項訂正のうえ)議案の通り承認された。

第4号議案 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

- ・事務局長より説明。

○質疑、意見等

(名古屋大学 加藤先生)

- ・ウの利用促進について、計画にはあるが、事業計画にないが。

(事務局)

- ・第4号議案の事業計画は南信州広域連合が主体で取組むものを抜粋している。利用促進については（取組主体である市町村等に対して）側面的支援を行う。

(名古屋大学 加藤先生)

- ・キャッシュレス決済を例に挙げると、各市町村、各運行事業者がバラバラで取組むことがあると利用者にとって良くないし、それぞれに任せるとするのはまずい。確かに導入するのは市町村や運行事業者であるが、MaaSの考えに逆行する。南信州地域交通問題協議会は、協議会の場で共有したり、提案するようにしてほしい。

☞議案の通り承認された。

第5号議案 地域公共交通確保維持改善事業「生活交通確保維持改善計画」について

- ・第5号議案について、各市町村の公共交通担当者より説明。

☞議案の通り承認された。

第6号議案 南信州地域交通問題協議会規約（案）について

- ・事務局より説明。

☞議案の通り承認された。

<報告事項>

令和2年度公共交通利用実績（輸送人員）について

- ・報告事項について、事務局より説明。

<最後に一言>

★北陸信越運輸局長野運輸支局 高澤首席運輸企画専門官

- ・新計画を策定され、これから目標達成に向けそれぞれが事業に取り組んでいただくことになるが、それについて評価をすることは大変な作業であるが、大変重要なことであるのでよろしく願いしたい。

★長野県 企画振興部 交通政策課 小林課長

- ・コロナ禍で交通事業者の経営状況は厳しい。6月県議会で公共交通に対する支援10億円。持続可能な公共交通を県としても支援していきたい。
- ・南信州地域公共交通計画を参考に県全体の取組みに活かしていきたいと考えている。
- ・広域観光、リニア、二次交通といった広域的な取組みについて、オープン化、キャッシュレスとの関連することから県としても取組んでいくので、綿密な連携をお願いしたい。

以上

南信州地域交通問題協議会 総会 出欠席者名簿

令和3年6月21日現在
(敬称略)

区 分	所属団体等	会員名		出欠席	備 考
		役 職	氏 名		
公共交通利用者 (住民代表)	飯田市地域公共交通改善市民会議	会 長	牧島 定好	○	
	飯田市地域公共交通改善市民会議	副会長	林 高功	○	
	喬木村区長会	氏乗区長	多田 憲幸	○	
	社会福祉法人豊丘村社会福祉協議会	会 長	篠塚 実	○	
	阿南町シニアクラブ連合会	会 長	金田 信保	×	
	下條中学校	前PTA会長	中島 康晴	○	
	阿智村自治会連絡協議会	副会長	櫻井 弘志	○	
	浪合自治協議会	会 長	稲垣 孝光	○	
環境団体	地域ぐるみ環境ISO研究会	事務局代表	勝田 雄大	○	
福祉事業者	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	会 長	中島 武津雄	○	
学校関係者	下伊那地区高等学校長会 (会長：長野県松川高等学校)	校 長	宮澤 直哉	○	(代理出席) 教頭 藤井 栄司
商工観光関係者	飯田商工会議所	会 頭	原 勉	○	
	長野県商工会連合会 南信州支部	支部長	堀 政則	○	(代理出席) 所長 矢澤 哲也
	株式会社 南信州観光公社	代表取締役社長	高橋 充	○	
公共交通 事業者	東海旅客鉄道 株式会社 飯田支店	駅長・支店長	大坂 勝典	○	
	信南交通 株式会社	社 長	中島 一夫	○	(代理出席) 旅客サービス副部長 林 浩人
	伊那バス 株式会社	社 長	藤澤 洋二	○	(代理出席) 松川営業所長 堀内 郁勇
	長野県タクシー協会 下伊那支部	支部長	村澤 文彦	○	
	大新東 株式会社 松本営業所	所 長	櫻井 利朗	○	
公安委員会	飯田警察署	署 長	上條 豊	○	(代理出席) 規制免許係長 黒河内 淳史
	阿南警察署	署 長	松下 佳弘	○	(代理出席) 地域交通課長 板倉 章人

学識経験者等	広域連合議会	議 員	熊谷 泰人	○	
	広域連合議会	議 員	西川 範明	○	
	名古屋大学大学院	環境学研究科 教授	加藤 博和	○	
道路管理者	国土交通省 中部地方整備局 飯田国道事務所	所 長	今井 浩策	○	
	長野県 飯田建設事務所	所 長	細川 容宏	○	(代理出席) 維持管理課長 小山 栄樹
行 政	南信州地域振興局	局 長	丹羽 克寿	○	
	飯田市	市 長	佐藤 健	○	
	松川町	町 長	宮下 智博	○	
	高森町	町 長	壬生 照玄	○	
	阿南町	町 長	勝野 一成	○	
	阿智村	村 長	熊谷 秀樹	○	
	平谷村	村 長	西川 清海	×	
	根羽村	村 長	大久保 憲一	○	
	下條村	村 長	金田 憲治	○	(代理出席) 総務課長 久保田 克郎
	売木村	村 長	清水 秀樹	○	
	天龍村	村 長	永嶺 誠一	○	
	泰阜村	村 長	横前 明	○	
	喬木村	村 長	市瀬 直史	○	(代理出席) 企画財政課長 村澤 明彦
	豊丘村	村 長	下平 喜隆	○	
	大鹿村	村 長	熊谷 英俊	○	
	南信州広域連合	広域連合長	佐藤 健	○	
オブザーバー	国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画専門官	高澤 陽	○	
	長野県 企画振興部 交通政策課	課 長	小林 伸行	○	
事務局	南信州広域連合	事務局長	吉川 昌彦	○	
		事務局次長兼総務課長	加藤 博文	○	
		企画調整担当専門主査	一柳 和宏	○	